



創立147周年

5月号（令和2年5月13日発行）

*kurosyou-dayori*

# 鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

## 笑顔での再会を願って

校長 森 愛子

緊急事態宣言が延長され、学校は今月31日まで休校となりました。この学校だよりと共に、新たな課題が配付されますが、その中に、1年生にはアサガオ、2年生には野菜、というように各学年の理科・生活科・総合の学習の内容についても入っています。鉄小の軸ともいえる栽培活動へのご理解・ご協力いただけますよう、どうぞよろしくお願いたします。学校では先月末、教職員が児童の代わりに、坂田清一さんご指導の元、苗床づくりと播種の作業を行いました。稲作のメイン学年である5年生にとっては、楽しみにしていた育苗作業ですが、農作物の栽培時期は待ったなしです。作業の様子を動画で撮影したので、学校再開後、それを見て学び、そこからできることを頑張ってくれることと思います。また、課題として、ご家庭での育苗体験もお願いするなど、家庭と学校での学びのつながりも大事にしています。3年生の梨の受粉作業も同じく教職員が体験し、今月20日ごろには袋かけをやります。子ども達が、実際に体験できないことは、残念ではありますが、秋の収穫を楽しみに今の自粛期間を耐えてもらいたいという思いで、学校ホームページに『鉄すくすく日記』という稲・野菜・梨などの生育状況を伝えるページを作りました。ぜひ、お子さんと一緒にご覧ください。

4月7日の始業式で、新しい担任との慌ただしい半日を過ごして以来、多くの子ども達と会うことのできない状況の中、学校はひっそりとしています。そんな中、校庭開放の時間帯は、子どもたちの元気な声を聞くことができ、教職員も元気をもらっています。子ども達と笑顔で再会できることを楽しみに、学校再開に向け、体制と環境を整えています。今週は、家庭訪問や教育相談などを通して、教員は、子どもたちの顔を見られることを楽しみにしています。技術員は樹木の手入れ、調理員は調理器具の点検に余念がありません。自粛期間が長引くことで、子ども達の心身の健康面についても心配しております。学校は緊急受け入れや学校開放のためにも、休校中でも教職員が出勤していますので、どうぞいつでもご相談ください。学校再開後の登校の仕方等、新しい形で進まざるを得ない世の中となってしまうかもしれませんが、これまで以上に、教職員一同力を合わせ、新しい生活様式を整え、安心して学校生活を送ることができるよう、がんばりますので、どうぞよろしくお願いたします。

